

事業名：福祉まると支援事業

【根拠法令】
社会福祉法第106条の3第2項
(包括的な支援体制の整備)



2024.6.26 令和6年6月定例会
文教福祉常任委員会資料 保健福祉部

＜事業内容＞

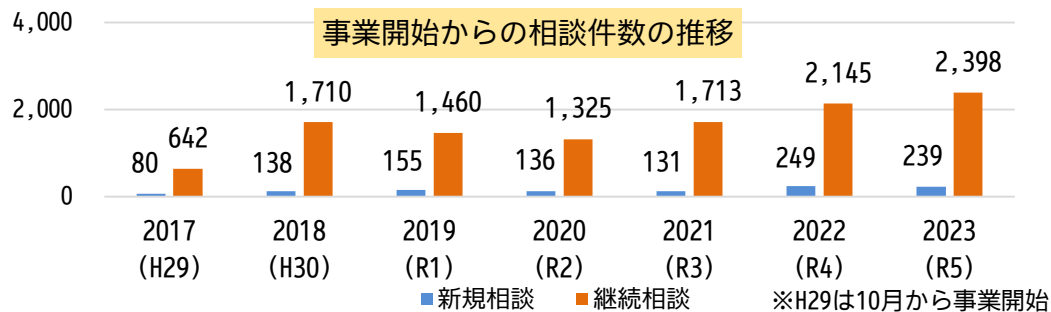
【事業の目的】

高齢、障がい、子育て、生活困窮などの福祉分野にわたる複数の課題がある世帯や、対象者本人に複数の課題を抱えている方及びその関係者からの相談を受け、課題を整理し、様々な相談機関につなぎ、世帯に寄り添いながら継続的にサポートし、スムーズな課題の解決を目指す。新規相談1,128件、継続相談延べ11,393件（R6.3月末現在）

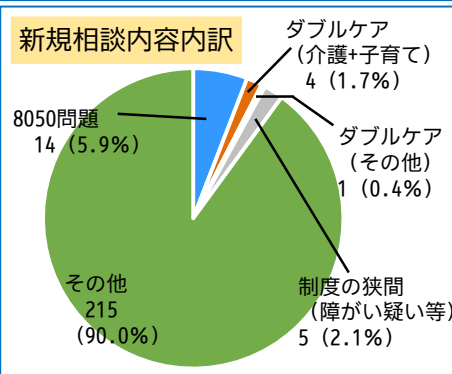
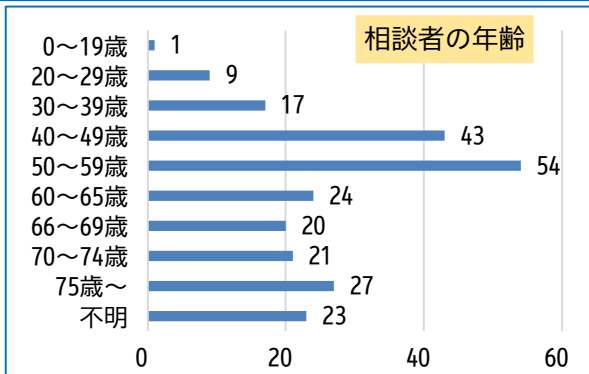
＜福祉まると相談窓口設置場所等＞

区分	受託機関	住所
北東エリア担当	公益財団法人 星総合病院	昭和二丁目17-2 (芳賀・小原高齢者あんしんセンター内併設)
南西エリア担当	社会医療法人 あさかホスピタル	安積町笹川字経坦45 地域総合サポートセンターコムタ (あさかホスピタル内)
中央・湖南・ 熱海担当	社会福祉法人 郡山市社会福祉協議会	朝日一丁目23-7 (郡山市保健福祉総務課内)

＜相談件数の推移＞

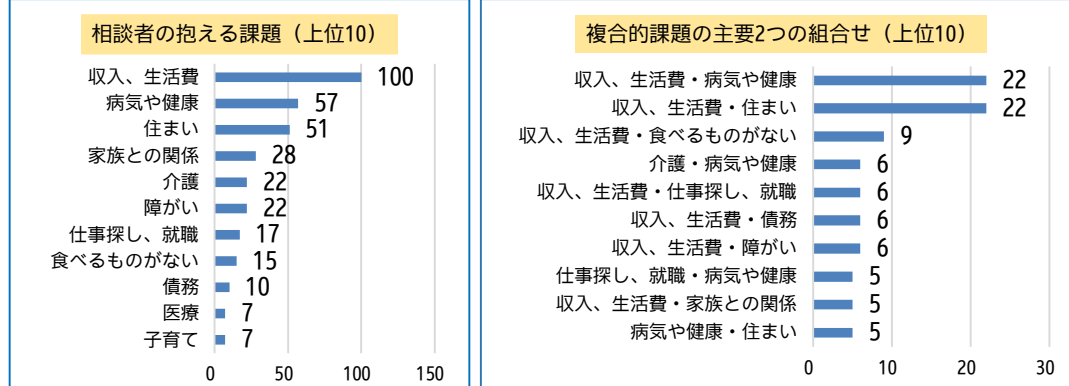


＜令和5年度 新規相談実績＞

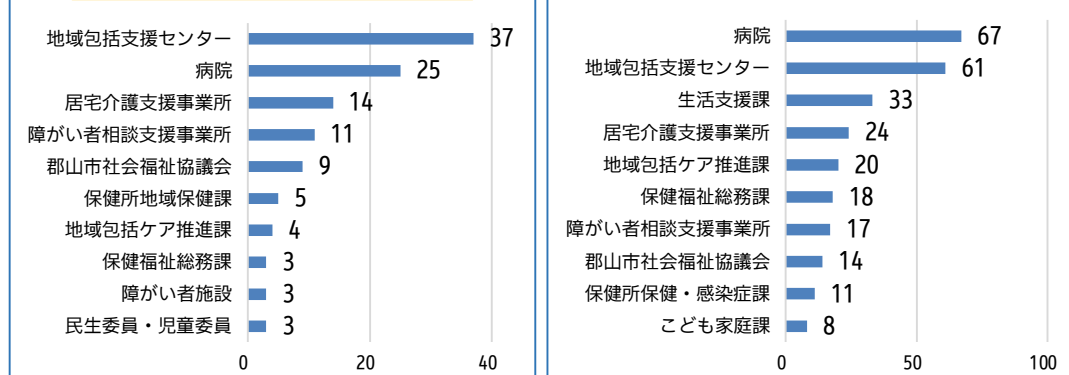


＜令和5年度 新規相談実績＞

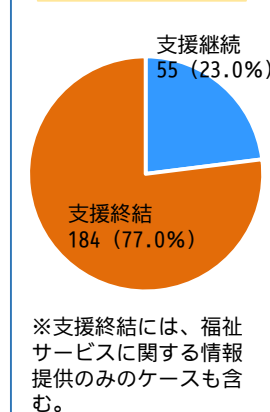
＜その他に分類される相談内容の内訳＞



初回相談元関係機関等の内訳（上位10）

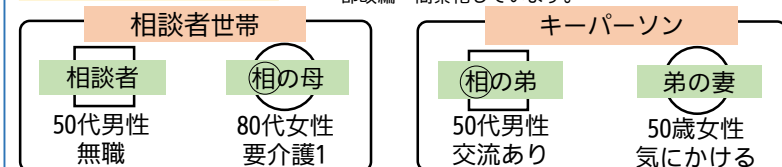


支援継続・終結割合



令和5年度 相談事例

※個人情報保護の観点から、実際の事例をもとに一部改編・簡素化しています。



母親に関わっている地域包括支援センターからの相談。
世帯の収入は母親の年金のみ。
相談者は20代からひきこもり状態で、就労経験が少ない。
母親は歩行困難になってきており、認知機能も低下あり。要介護1。
地域包括支援センターで訪問、母親入院対応。要介護4となり施設入所。
弟の妻と何度か訪問する中で、相談者と信頼関係を築き、国保加入手続、病院受診同行や転居、生活保護申請準備。担当ケースワーカーと連携し、スマートフォン契約や預金口座開設などを支援。初めての一人暮らしのため、居場所の案内や家計管理の相談などを継続する。